

## 弊社建物撤去工事におけるアスベスト検出について

弊社が所有する建物撤去工事において、建物の一部にアスベスト含有建材が用いられていたことが判明いたしました。なお、現在は対策として硬化剤の散布、ブルーシート養生及び目張りを実施し、飛散防止処置を完了しております。

住民の皆様、松山市様を始め、関係各所の皆さまに深くお詫び申し上げますとともに、再発防止の徹底に努めてまいります。

### 1. 概要

NTT三番町ビル(愛媛県松山市三番町7-1-3)撤去工事において、本建物の煙突にアスベスト含有建材(成型断熱材)が用いられていることが判明いたしました。

### 2. 発見された状況

6月20日(火)14~17時頃に解体を実施しブルーシート養生したコンクリート製煙突を、6月21日(水)の朝に確認したところ、煙突断面より確認された断熱材が、想定していたもの(耐火レンガ)と異なる材料であることを発見したため、直ちに成分分析を実施した結果、同日17時頃にアスベストが含有されていることが判明いたしました。

### 3. 経緯

本建物の煙突につきましては、1972年当時の新築図面を確認し、アスベスト含有建材が用いられていないことを確認しておりましたが、1983年に実施した煙突改修工事(アスベスト含有建材を利用)の際の改修工事図面の確認ができておりませんでした。また、撤去工事前の目視調査においてもアスベスト含有建材が発見できなかったことから、撤去工事に着手いたしました。

なお、本建物の外壁につきましては、事前の図面確認の中で塗材にアスベストが含まれていることを確認していましたので、アスベスト飛散対策を適切に施したうえで、撤去工事を実施しております。

### 4. アスベスト検出を受けての対応

6月21日(水)朝の段階で、直ちに工事を中断するとともに、飛散防止処置を完了いたしました。

アスベスト飛散量につきましては、6月22日(木)現在、測定下限値以下であることが判明しております。今後、近隣住民の皆様には誠意を持って対応してまいります。

### 5. 再発防止策

本件を受けて、外壁のみならず全ての資材において、改修工事図面を含めた工事図面の確認および、工事着手前における事前調査の徹底を図ってまいります。

以上

※ ニュースリリースに記載している内容は、報道発表時のものです。  
最新の情報と内容が異なる場合がありますのでご了承ください。